言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
国語科の授業実践例

海田町立海田南小学校

1　学年・単元名　第３学年　昆虫になって変身の術を知らせよう～「自然のかくし絵」の巻～
2　本時の目標　　ゴマダラチョウの幼虫の保護色について正しく読み取り,中心文をふまえて,吹き出しを書くことができる。
3　本時の工夫点
①ことばの学習との関連
本単元の学習に入る前にことばの学習の「視点を変える」を通して，ほかの人の立場に立ち，吹き出しや文を書く学習に取り組ませ，児童に視点を変えて考えたり，文を書いたりすることの楽しさを感じさせたい。
②読む必要感や目的意識をもたせる工夫
題名から問いの文を作り，その問いの答えを考えさせながら主体的に読み進めることができるようにさせたい。また，説明文で読み取ったことを，身近な人である家族に４コマ漫画で知らせるという相手意識や目的意識をもたせ，学習意欲を喚起させたい。知らせたいことを調べるために段落ごとのまとまりに気をつけて中心点を読み取り，それらを選択したり，組み立てたりして昆虫の立場になり視点を変えて吹き出しなどの文を書く活動をする。知らせたいことが中心文を踏まえたものであるようにする。中心文を決める時には，文章全体とのつながり，題名とのかかわり方，繰り返し出てくるキーワードなどに着目させながら考えさせていきたい。また，それぞれの特徴を昆虫になりきり書くことで意欲的に書くことができるようにさせたい。

4　学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1　本時のめあてを確認する。 中心文を見つけ,ゴマダラチョウのよう虫にへん身して,へん身のじゅつを知らせよう。	・段落⑦を読み,中心文を見つけ，吹き出しをかくことを確認する。	
2　本時を音読する。	・声の大きさや速さに気をつけて正しく読ませる。	
3　中心文にサイドラインを引く。	**情報を的確に分析する技術** 文章全体とのつながりやキーワードを手がかりに中心文を考えさせる。 ・中心文をみつけにくい児童には文章全体から考えさせたり，題名とかかわって考えさせたり,繰り返し出てくる言葉（キーワード）に着目させたりして見付けさせるようにする。	
4　中心文について話し合い,内容を読み取る。	**受け答えをする技術** サイドラインを引いた中心文について理由を述べて出し合い,話し合わせる。	
5　読み取った内容をゴマダラチョウの視点で吹き出しに書く。	**様々な角度から物事を見る技術** 読み取った内容をもとに中心文をおさえながら吹き出しを書かせるようにする。	・中心文をおさえながら知らせたい内容を吹き出しに書いている。 （ワークシート）
6　吹き出しを発表する。 7　学習のまとめをする。	・吹き出しを交流させる。 ・ふり返りカードで学習のふり返りをさせる。	